

## ○調査方針、取得サンプル数



- 各種調査のアウトプットを明確にし、**公共交通の現状/課題、将来の方向性の参考にするためのニーズ把握するために、調査の全体計画を作成し、過不足のない調査計画を立案**

調査項目	手法	対象者 (調査時期)	目的	具体項目	アウトプット	取得サンプル数 入力・集計完了時期
町民アンケート調査	・2,000票郵送配布 ・LINEや広報活用	・18歳以上 65歳未満の住民 (R5年7月)	・普段の移動、公共交通の利用実態、ニーズを把握 ・公共交通利用促進の働きかけ	○回答者属性（町名、性別、家族構成等） ○新型コロナによる外出行動の変化 ○現在の外出行動 ○公共交通の利用頻度、使わない理由（○オンデマンド交通の価格感度）	・計画策定の利用実態や住民意向の基礎データを収集 ・定量的な根拠として活用	・738票 ・入力：済 ・集計：済
高齢世帯調査	・1,000票郵送配布 ・LINEや広報活用	・65歳以上の世帯 (R5年7月)	・普段の移動手段、移動の困りごと、免許返納意向、スマホ等の利用実態	○回答者属性 ○現在の外出行動、送迎の実態 ○免許返納の意向、生活の困りごと ○公共交通の利用頻度、使わない理由（○オンデマンド交通の価格感度）	・高齢者の生活の現状、抱える課題を把握し、施策検討の基礎データを収集 ・定量的な根拠として活用	・530票 ・入力：済 ・集計：済
地域巡回バス利用者アンケート調査	・乗込調査	・乗車客 (R5年8月22日～8月23日)	・地域巡回バスの利用実態及び利用属性の把握	○利用実態（OD、乗車数、乗降バス停） ○利用属性（年代、目的、行先等）	・利用実態、意向把握 ・オンデマンド交通への移行可能性の把握	・全路線計：77票 ・入力：済 ・集計：済
路線バス乗降客調査 【提案】	・バス停調査（乗降数の多いバス停を抽出し実施）	・乗降客 (R5年9月6日)	・バス停の乗降数把握	○乗降者数 ○利用者属性（全数を目標とするが協力者のみ）	・利用実態、意向把握	・3バス停計：372票 ・入力：済 ・集計：済
関係者ヒアリング調査	・ヒアリング	・交通事業者 庁内関係者 (R5年7月～随時)	・運行に関する課題の把握 ・施策に関する意見収集	○現状の経営状況、課題 ○連携可能な取り組み事項	・公共交通網を維持・向上するための役割、棲み分けや連携可能な施策検討の基礎データを収集	・交通事業者：整理済 ・庁内関係者：随時
観光施設利用者ヒアリング調査	・施設利用者へのインタビュー調査	・夜須高原記念の森、道の駅、大刀洗平和記念館 (R5年8月)	・観光施設への移動実態 ・公共交通に関するニーズ	○回答者属性（市内、市外、県外等） ○施設の来訪頻度、手段 ○公共交通に対するニーズ	・観光利用のボトルネックの把握と今後の展望検討の基礎データを収集	・計：532票 ・夜須高原 58票 ・道の駅 299票 ・大刀洗記念館 175票
中学校調査 【提案】	・WEB調査	・町内中学校の3年生（進路を具体的に検討する秋ころ）	・高校への進学後の公共交通の利用可能性や、公共交通充実度による高校の選択意向を把握	○公共交通の周知、情報提供 ○今後のMMの可能性調査（広報チラシは別添をイメージ、今年度作成可能かは要協議）	・公共交通の通学利用（町外）へのポテンシャルと意向を調査 ・高校進学前のモビリティマネジメントの一環としても調査	・夜須・三輪中（中学3年生） ・10月ごろ実施予定
町民ワークショップ 【提案】	ワークショップ	・希望者 (秋ころ)	・町民高齢者調査の補完調査として位置づけ	○生活の中での移動 ○移動に関する不安	・現状課題の分析後、定性的かつ具体的な困りごとについて把握	・秋ごろ実施予定

# 町民アンケート調査・高齢世帯調査



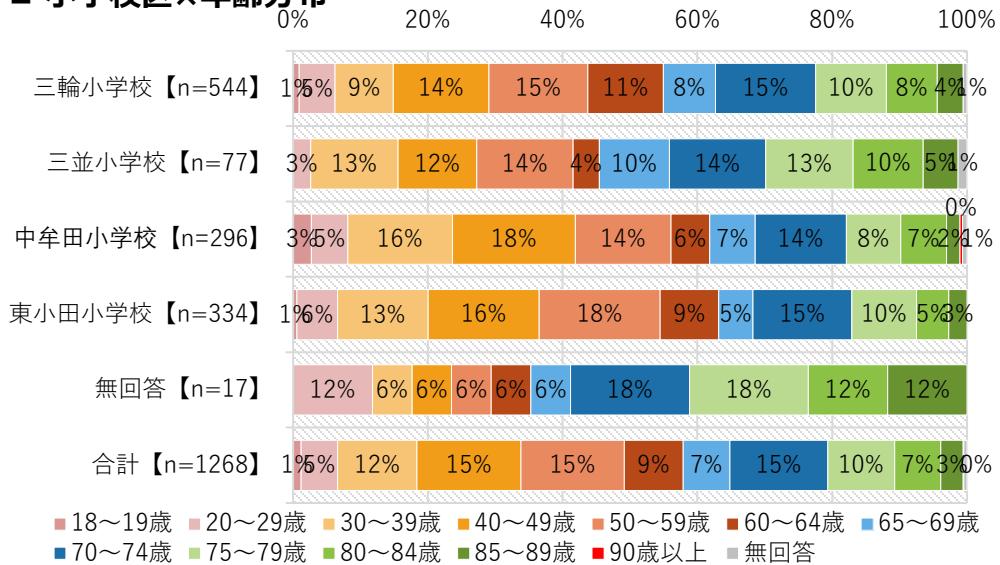
● 筑前町に住む方を対象に、町民アンケート調査（18～65歳未満：2000票配布）及び高齢世帯調査（65歳以上：1000票配布）を実施。郵送とWEBを併用し、計1268票回収。

調査項目	手法	調査時期/対象者	取得サンプル数
町民アンケート調査	・2,000票郵送配布、LINEや広報活用	・ R5.6.30（金）～7.23（日） / 18歳以上65歳未満の住民	・ 738票（web：393票）
高齢世帯調査	・1,000票郵送配布、LINEや広報活用	・ R5.6.30（金）～7.23（日） / 65歳以上の世帯	・ 530票（web：53票）

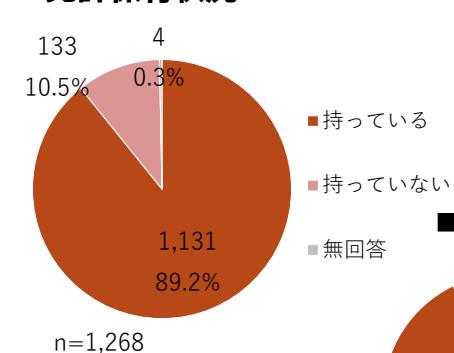
## ① 回答者の属性

- ・小学校区別人口比と回収数の割合は概ね合致している。
- ・回答者の中では30～49歳、70～74歳の回答者数が多く、三並小学校区ではほかの小学校区と比較して65歳以上の回答者数が多い。
- ・運転免許を保有している方は約9割を占めており、そのうち日常的に運転する人は93%となっている。
- ・高齢者の方でスマートフォンが「自身で自由に使える」との回答は35%である一方で、75歳以上の方は端末を「所持していない」との回答が25%を超えている。

### ■ 小学校区×年齢分布



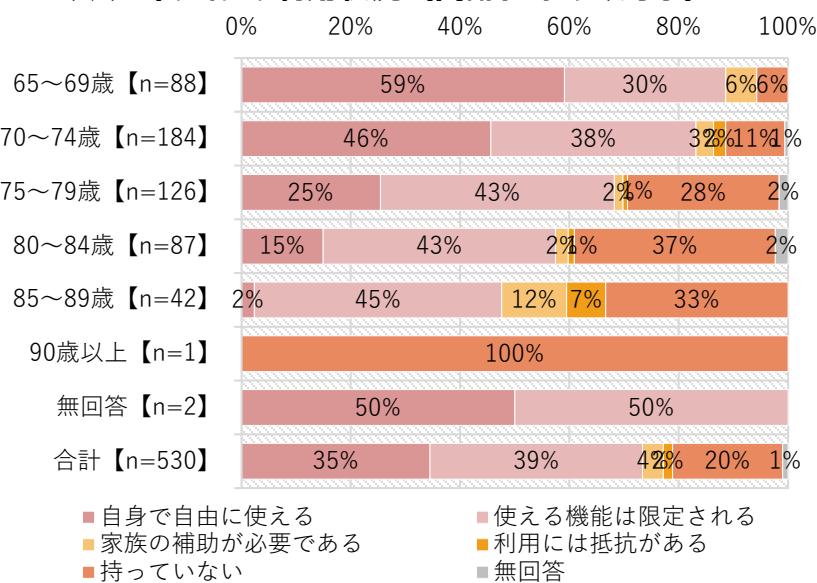
### ■ 免許保有状況



### ■ 日常的な運転



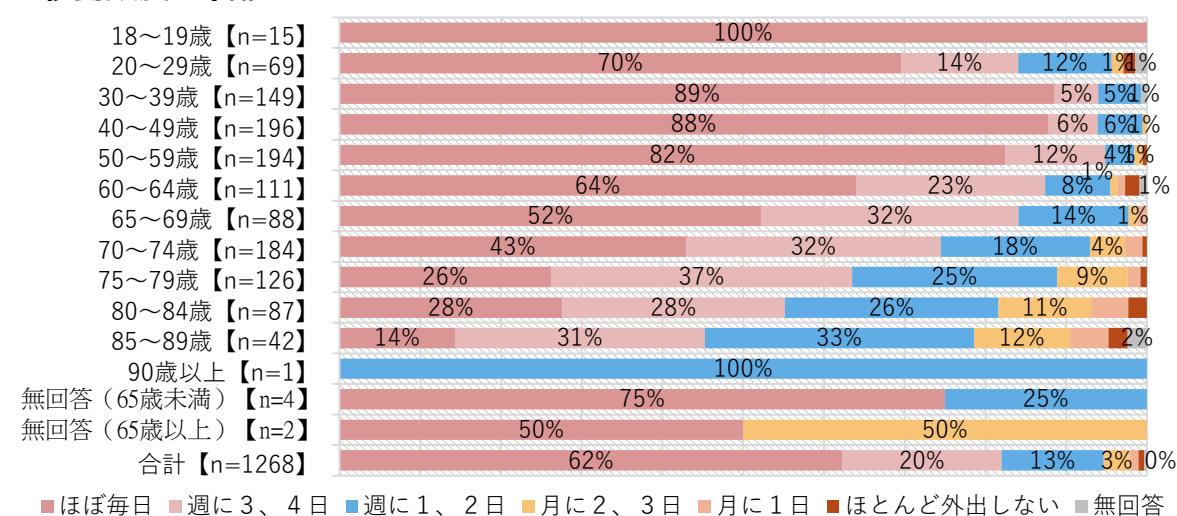
### ■ スマートフォンの利用状況（高齢世帯のみ対象）



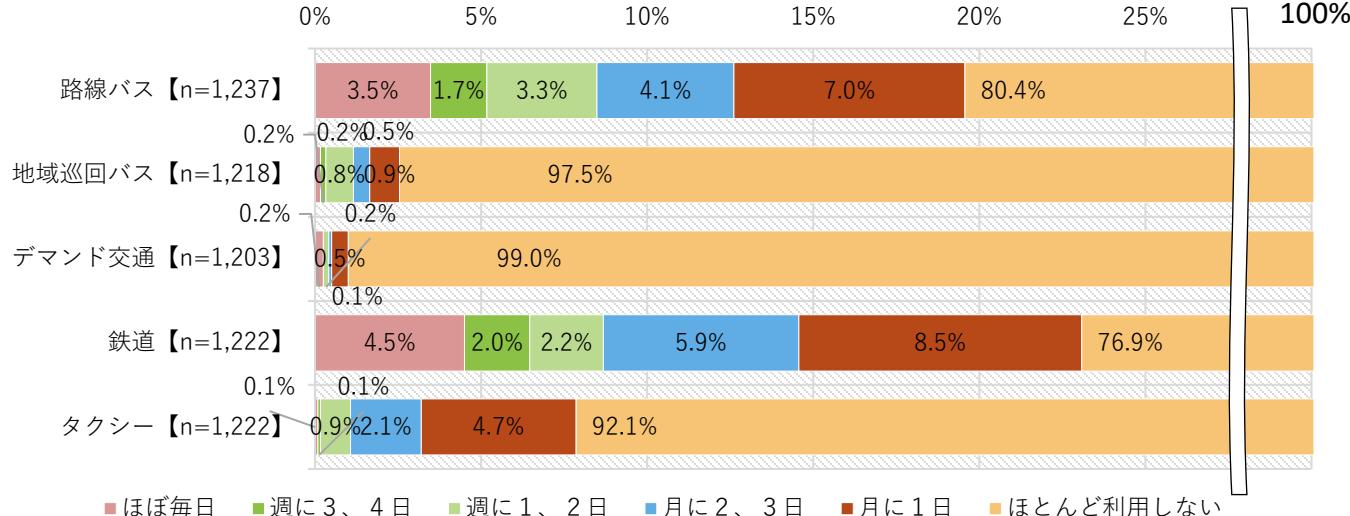
## ② 移動実態

- ・80%以上の方が週に3日、4日以上外出しており、加齢とともに移動頻度が減少する傾向がある。
- ・いずれの公共交通も8割が「ほとんど利用しない」と回答している。
- ・路線バスと鉄道を「月に1度は利用する」との回答の割合は2割を占めており、日常的な利用者も多い。

### ■ 移動頻度×年齢



### ■ 日常生活における公共交通の利用頻度



# 町民アンケート調査・高齢世帯調査



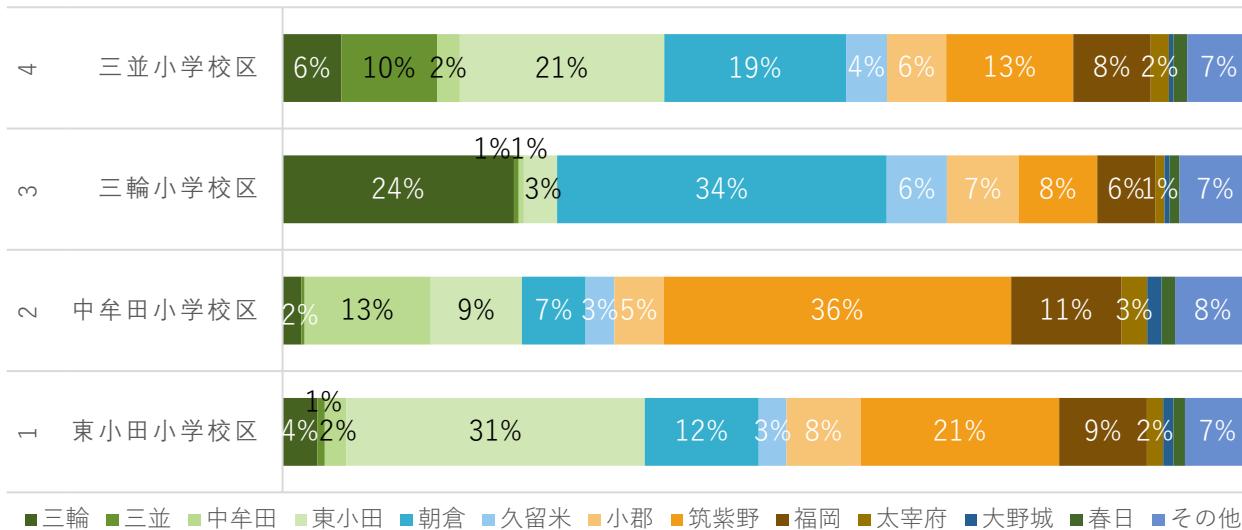
● 筑前町に住む方を対象に、町民アンケート調査（18～65歳未満：2000票配布）及び高齢世帯調査（65歳以上：1000票配布）を実施。郵送とWEBを併用し、計1268票回収。

## ③移動実態

- ・移動の目的地として、「東小田小学校区」「朝倉市」「筑紫野市」が多い傾向にある。
- ・通勤は「朝倉市」「筑紫野市」「福岡市」が最終目的地となっている移動が多く、町外へ通勤している人が多くを占めている
- ・買い物の目的地は「三輪小学校区」、「東小田小学校区」が一定数いる一方で、「朝倉市」、「筑紫野市」といった町外で買い物をする人が多い。

### ■ 移動の目的地×小学校区別

※小学校区、市を省略して記載



### ■ 移動目的×最終目的地

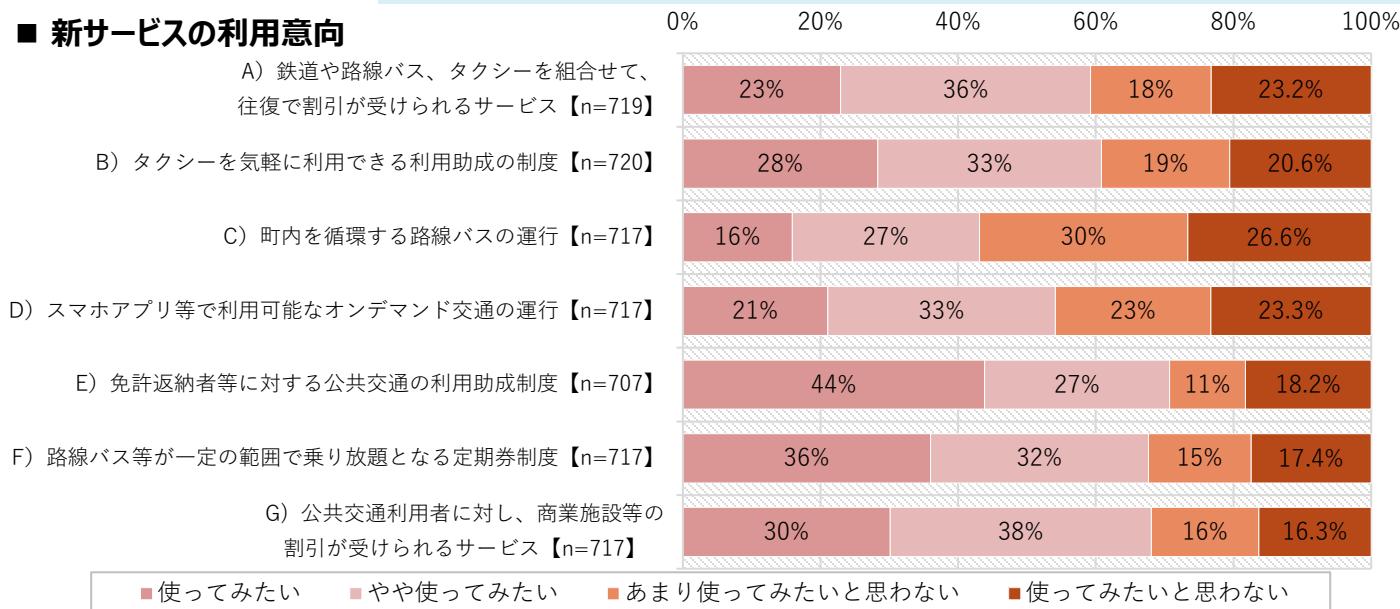
※小学校区、市を省略して記載

	三輪	三並	中牟田	東小田	朝倉	久留米	小郡	筑紫野	福岡市	太宰府	大野城	春日	その他	不明	計
通勤	75	13	24	60	122	52	44	102	92	21	17	13	107	21	763
買い物	193	7	66	218	309	33	110	349	47	10	5	6	35	91	1479
通院	79	4	24	72	175	36	47	86	21	6	2	8	22	64	646
娯楽・イベント参加	25	3	3	19	60	34	21	89	104	11	5	9	46	19	448
郵便・金融機関	42	3	16	86	80	3	14	31	6				9	43	333
通学	7	1	5	1	3	1	1	2	16	4	1		8	3	53
その他	37	8	15	31	42	13	12	30	17	7	3	3	42	19	279
不明		1		3	3			1	1			1	3		13
計	458	40	153	490	794	172	249	690	304	59	33	40	272	260	4014

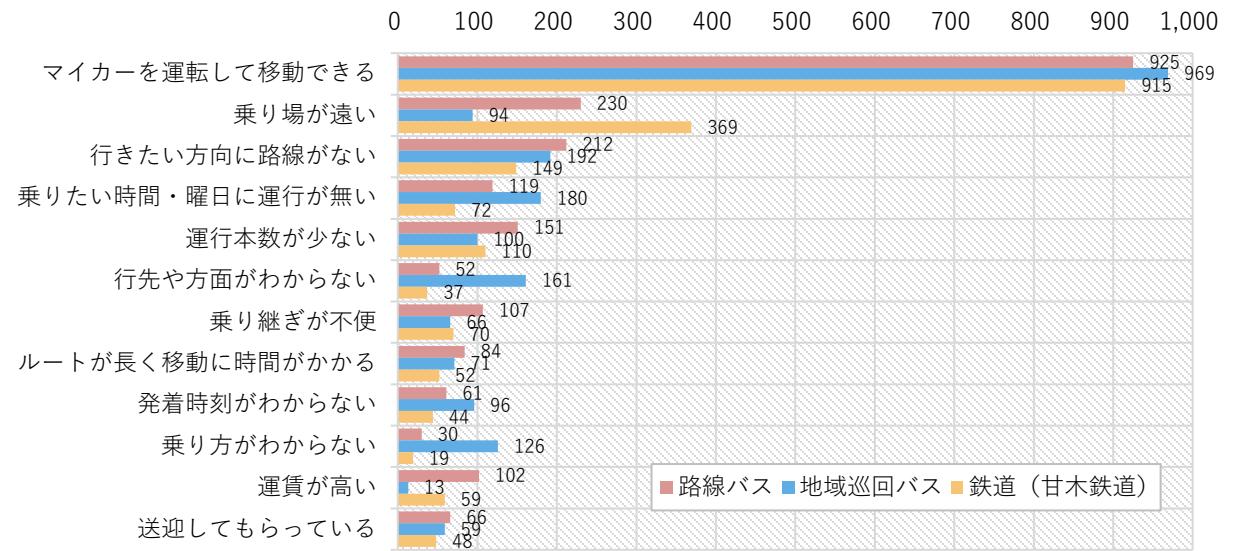
## ④新サービス移行ニーズ

- ・「免許返納者に対する公共交通の利用助成制度」が導入された場合、「使ってみたい」の回答が44%と最も高い。
- ・公共交通を利用しない理由として「マイカーを運転して移動できる」との回答が多くを占めている。
- ・地域巡回バスは「乗り場が遠い」との回答が他の公共交通よりも少ない一方で、「行先や方面が分からない」「乗り方が分からない」といった周知の部分に課題がある。

### ■ 新サービスの利用意向



### ■ 公共交通を利用しない理由



## ⑤自由記述

- ・公共交通の存続希望：これから先、免許返納が増えてくると思いますので、町民バスは必要だと思います。（5件）
- ・公共交通の課題：路線バスは386号のみしか運行していないため、最寄りの路線バス停までのアクセスを最重要として計画してほしい。（4件）
- ・情報提供不足：デマンドバスの宣伝や使い方のアピールが足りていないため、さらに周知した方が良い。（7件）
- ・将来的な見通しが不透明：現在マイカーで運転が可能のため、回答が難しい。運転できないようになった時に大きく回答が変わってくると思う。（4件）

# ○観光施設調査



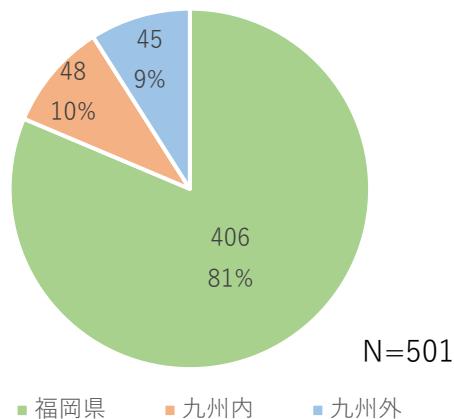
● 筑前町内の代表的な観光施設について、調査員が施設利用客に聞き取りでの調査を実施。

調査項目	手法	調査時期/対象者	取得サンプル数
大刀洗平和記念館	・施設利用者へのインタビュー調査（WEB回答併用）	・ R5.8.12（土） /施設利用者（1団体1名）	・ 175票（web：19票）
道の駅みなみの里	・施設利用者へのインタビュー調査（WEB回答併用）	・ R5.8.19（土）、8.26（土） / 施設利用者（1団体1名）	・ 299票（web：3票）
夜須高原記念の森	・施設利用者へのインタビュー調査（WEB回答併用）	・ R5.8.26（土） / 施設利用者（1団体1名）	・ 58票（web：1票）

## ①回答者の属性

- ・福岡県からの来訪者が8割を占める。
- ・福岡県内に住む来訪者の市町村内訳をみると、福岡市の割合が最も高く2割ほどを占めるが、そのほかは分布がばらけており、多様な市町村から来訪している。
- ・同行人数について、2人以上の来訪者が約8割を占めており、家族連れの利用客が多い。
- ・利用頻度は7割が「年に数日」「ほとんど利用しない」と回答しており、定期的な利用者の割合は少ない傾向がみられる。

### ■ お住まい

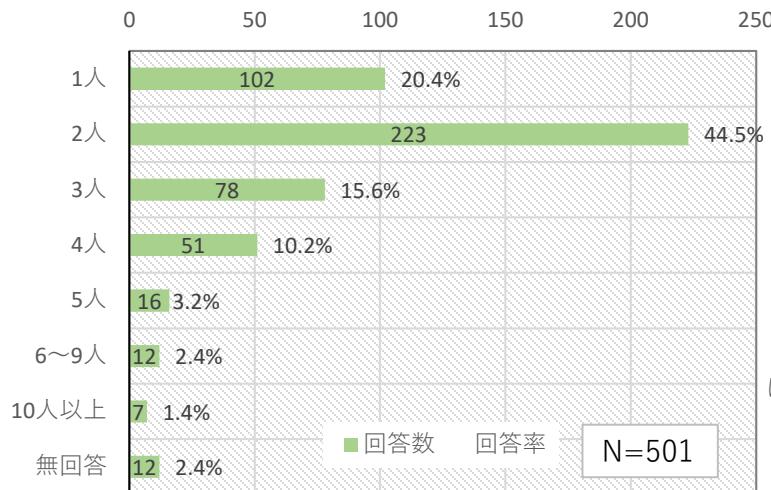


### ～福岡県内訳～

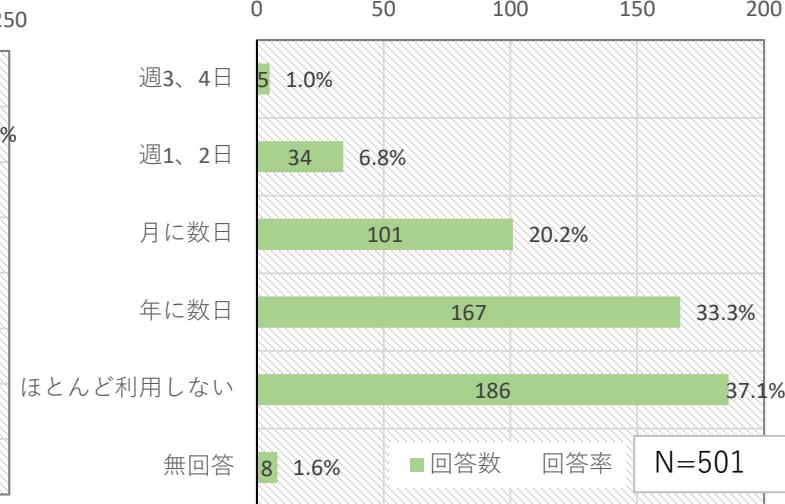
※上位10市町村を抽出

【住まい】	回答数	割合
福岡市	96	23.7%
筑前町	45	11.1%
筑紫野市	43	10.6%
久留米市	23	5.7%
北九州市	23	5.7%
大野城市	20	4.9%
朝倉市	20	4.9%
春日市	16	4.0%
太宰府市	14	3.5%
飯塚市	14	3.5%

### ■ 同行人数



### ■ 利用頻度

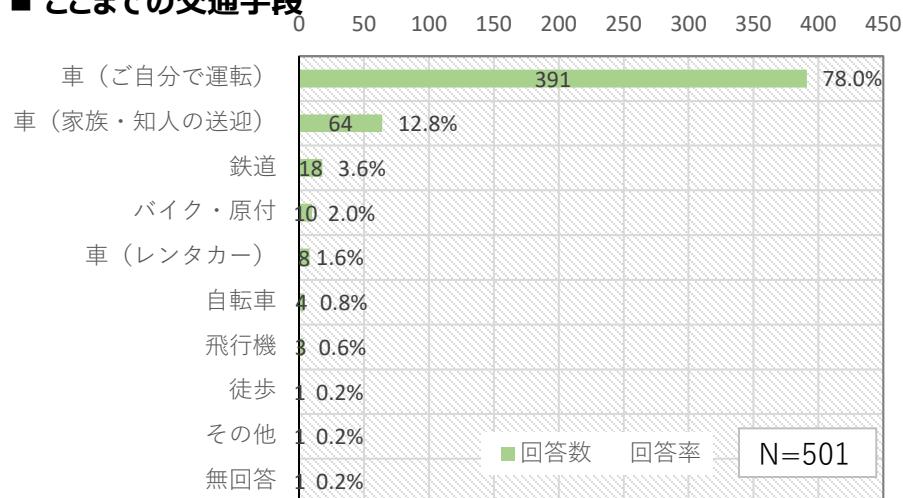


※夜須高原記念の森は一部未集計の結果を含む

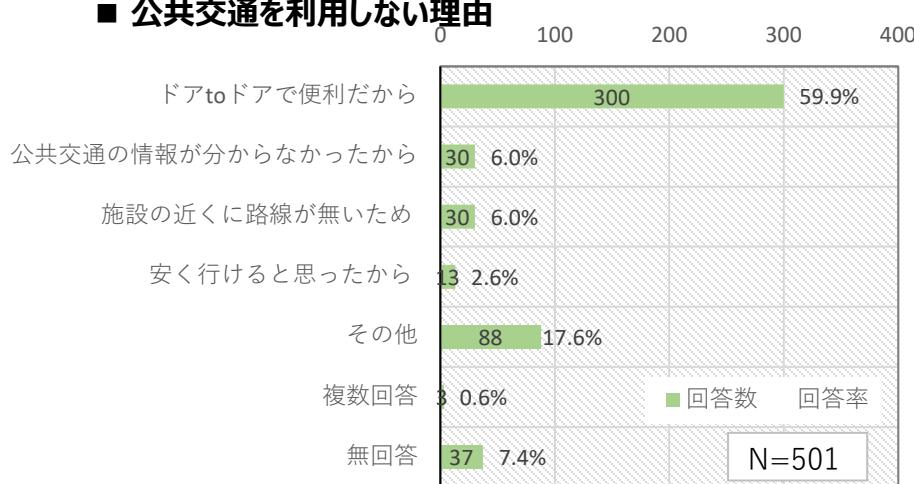
## ②移動実態

- ・ここ（観光施設）までの交通手段について、9割以上が車で来訪しており、公共交通の利用者の割合は少ない。
- ・公共交通を利用しない理由について、「ドアtoドアで便利だから」との回答が6割を占める。
- ・他の施設への立ち寄りについて、立ち寄っていない来訪者は半分ほどを占める一方で、観光地を周遊する、商業施設に寄るといった移動も多い。

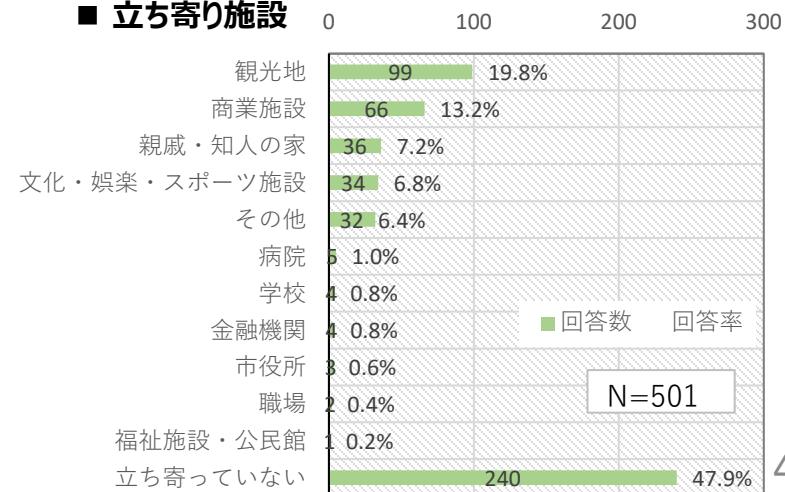
### ■ ここまでの交通手段



### ■ 公共交通を利用しない理由



### ■ 立ち寄り施設



# 乗降バス停調査



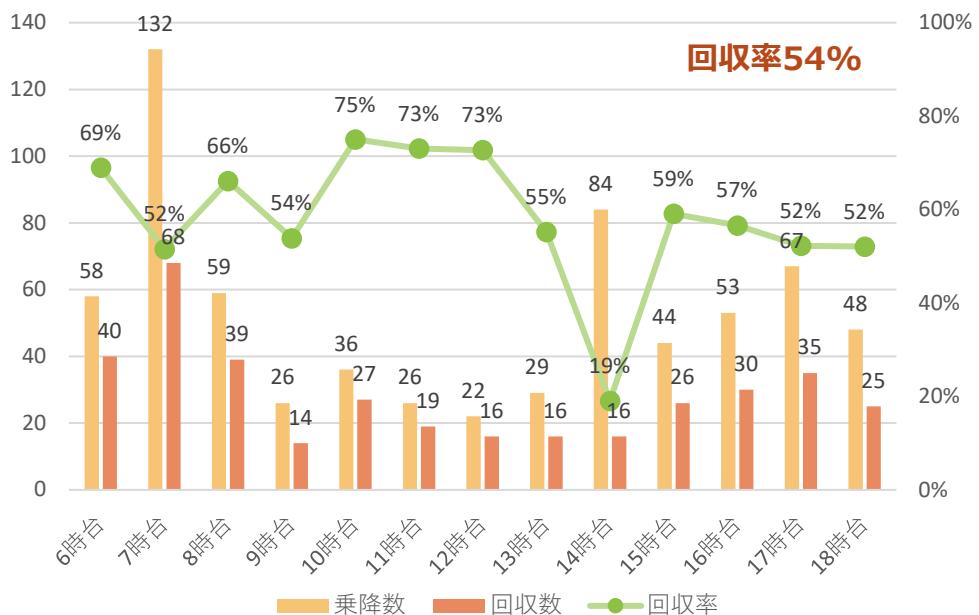
- 西鉄バスが運行する筑前町内の乗降数が多い3バス停（石櫃、篠隈新道、新町）を対象とし、調査員が乗降数を記録するとともに乗降客にアンケート調査を実施。

調査項目	手法	調査時期/対象者	取得サンプル数
乗降バス停調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停調査（乗降数の多いバス停を抽出し実施）</li> <li>・WEB回答併用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R5.9.6（水）（6:00～19:00） / 乗降客</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 372票（web : 12票）</li> </ul>

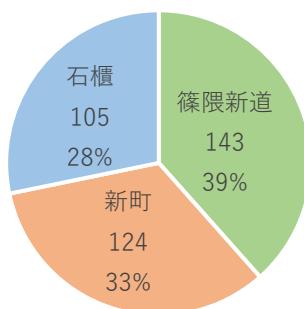
## ①回答者の属性

- ・乗降客は7時台が最も多く、次いで小学生の通学利用の影響で14時台の利用が多い
- ・回収率（全体）は54%である。小学生のサンプル（集団で乗降するためアンケート協力不可）を除くと回収率は62%となる。
- ・利用頻度について「週に3～4日以上」利用する方は全体の75%にのぼり、定期的な利用者が多い傾向にある。
- ・年齢は22歳以下の学生の世代が半分ほどを占めており、特に高校性の利用が多い。

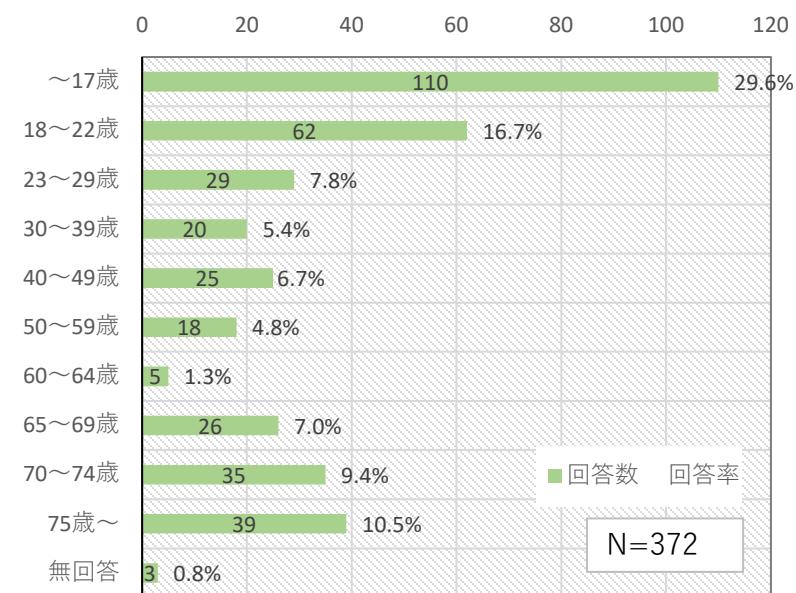
### ■乗降客数（回収率）



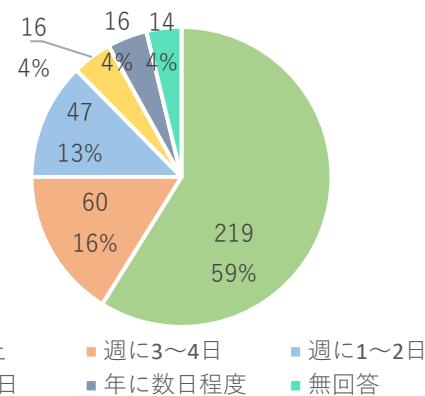
### ■バス停別回収数



### ■年齢分布



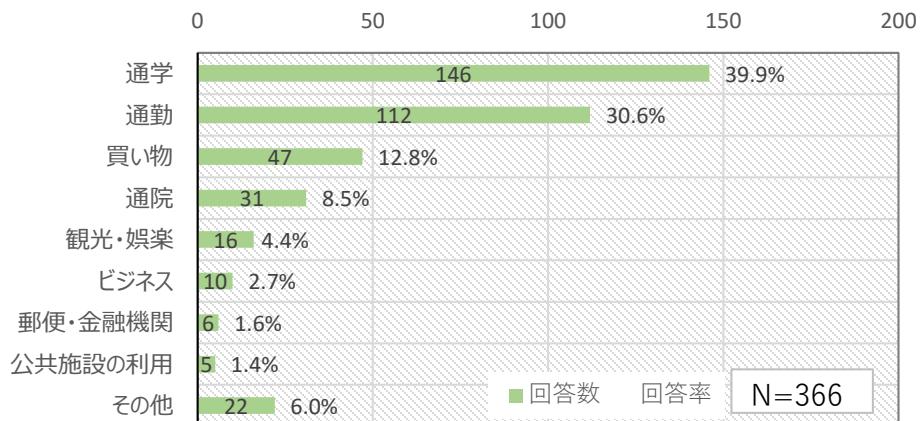
### ■利用頻度



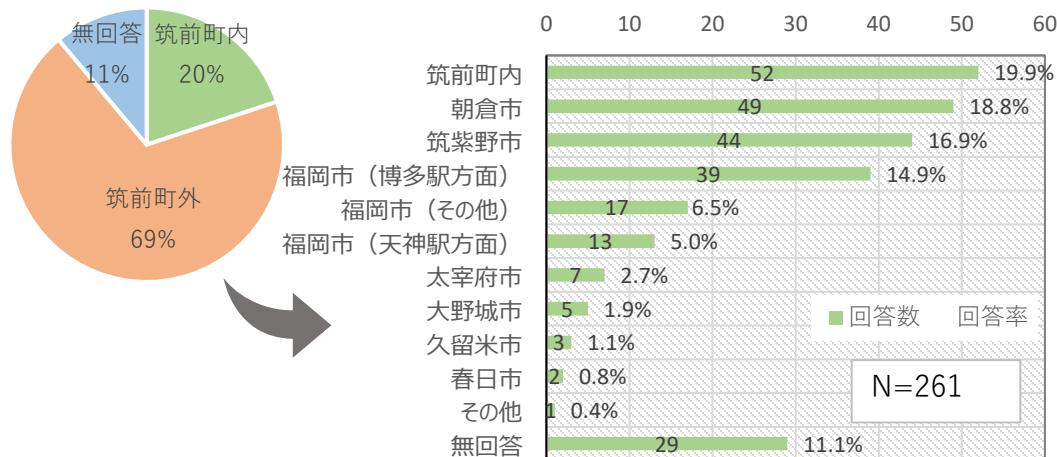
## ②移動実態

- ・通勤/通学での利用が全体の7割を占めており、買い物、通院がそれぞれ1割ほどを占める。
- ・利用者の2割ほどが筑前町内が最終目的地である。町外に関しては朝倉市、筑紫野市、福岡市（博多駅方面）を最終目的地とする利用者が多い傾向にある。
- ・路線バス利用の理由として、「移動する手段がないから」「バス停が近いから」が多くを占める。「その他」の内訳として、は会社の規定によるバス利用が多くを占める。

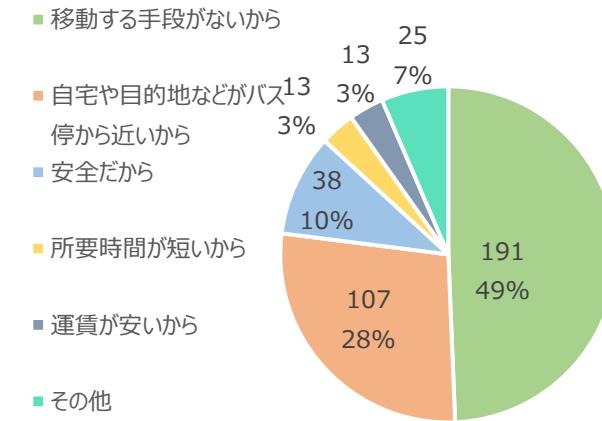
### ■利用目的



### ■最終の目的地（※乗車した方限定）



### ■路線バスを利用した理由



# ○地域巡回バス利用者アンケート調査



● 筑前町内を巡回する「ちくちゃんバス」の全路線について、調査員がバスに乗り込み、乗車客に聞き取りでの調査（全数）を実施。

調査項目	手法	調査時期/対象者	取得サンプル数
地域巡回バス調査	・バス乗込調査（ヒアリング）	・ R5.8.22（火）～23（水）（8:30～17:00） / 乗車客	・ 全路線計：77票

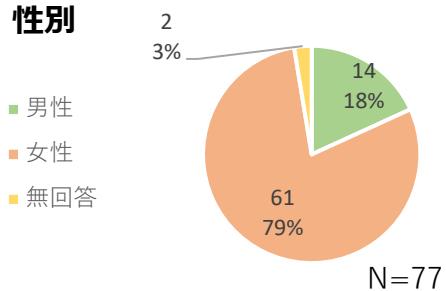
## ①回答者の属性

- ・乗車客全員に調査を実施。各路線1日10人ほどが乗車している。
- ・乗車客は女性が8割を占めており、免許なし（自主返納含む）の利用者がほとんどである。
- ・巡回バスの利用頻度は週に1日以上する方が7割以上を占めており、利用者は日常的にバスを利用している傾向にある。
- ・乗車客の年齢は70歳以上が85%以上を占めている。

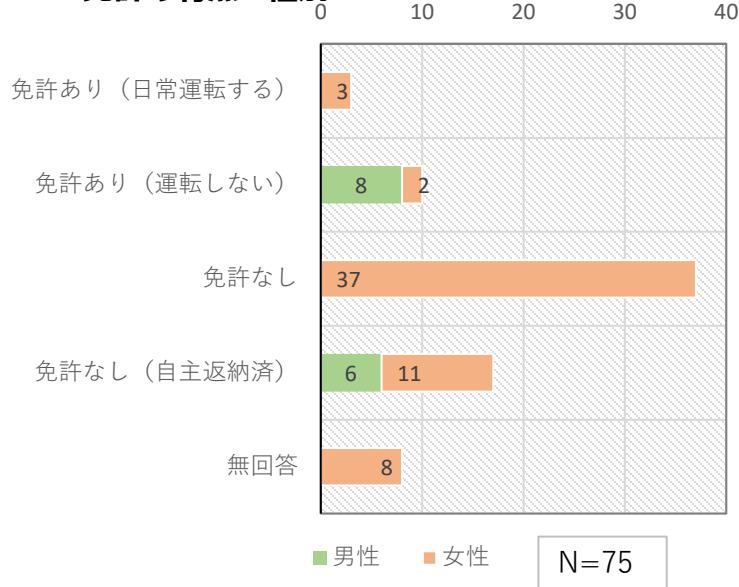
### ■ 路線別乗車数

路線	回答数
めくばり号（火・木・土）	6
めくばり号（水・金・日）	8
そったく号（火・木・土）	14
そったく号（水・金・日）	14
うぐいす号（火・木・土）	16
うぐいす号（水・金・日）	10
コスモス号（火～土）	9

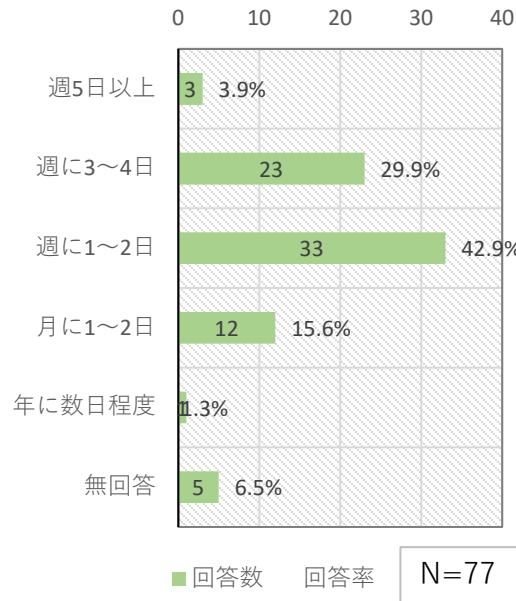
### ■ 性別



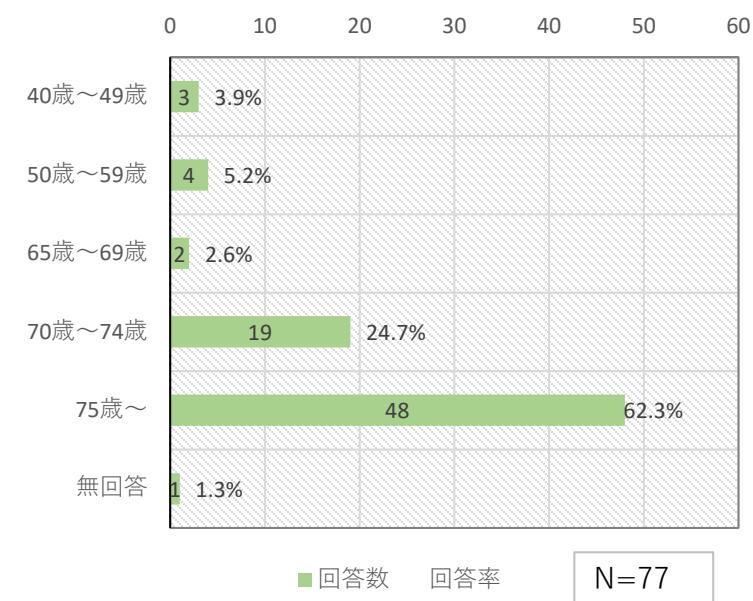
### ■ 免許の有無×性別



### ■ 利用頻度



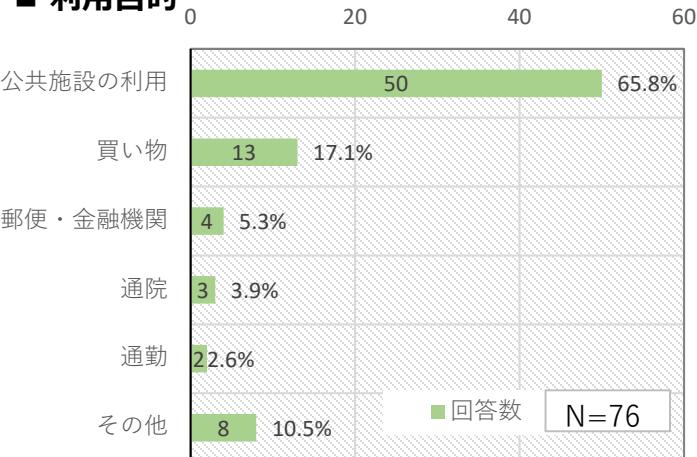
### ■ 年齢



## ②移動実態

- ・利用の目的は「公共施設の利用」が最も多く65%ほどを占めており、最終目的地に関しても「敬老館」「めくばり館」といった公共施設が多くの割合を占める。
- ・巡回バスを利用した理由として、「移動する手段がないから」、「自宅や目的地などがバス停から近いから」といった理由が多い。
- ・ちくちゃんバス運行終了後の代替交通手段として、「チョイソコちくちゃん」を考えている利用者は8割以上を占める。

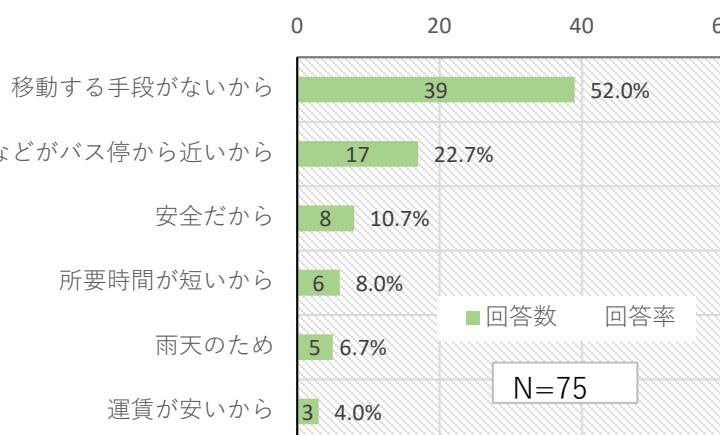
### ■ 利用目的



### ■ 最終目的地

最終目的地	回答	割合
自宅	21	37.5%
敬老館	10	17.9%
めくばり館	6	10.7%
Aコープ夜須店	4	7.1%
東小田上コミュニティセンター	3	5.4%

### ■ 巡回バスを利用した理由



### ■ バス運行終了後の代替交通手段

